

# 第1回働きやすいまち推進協議会 概要

## 1 日時

令和5年12月14日（木） 9：00～10：35

## 2 場所

本庁舎10階市長会議室

## 3 出席者

札幌商工会議所	紫藤副会頭 様、水落常務理事 様
連合北海道札幌地区連合会	吉田会長 様、山口事務局長 様
札幌市	町田副市長 齋藤税務・契約管理担当局長、一橋経済観光局長 北川管財部長、庄中経営支援・雇用労働担当部長 久保田改革推進室長

## 4 次第

- (1) 開会
- (2) 報告  
指定管理者制度への人件費スライド導入(総務局改革推進室)
- (3) 意見交換「人手不足について」  
ア 札幌市の就業状況と実施事業について(経営支援・雇用労働担当部)  
イ CCUS活用、人材確保・育成型総合評価落札方式等(管財部)
- (4) 企業からの意見聴取について
- (5) 今後のスケジュール

## 5 概要

- (1) 開会  
第1回協議会の開会にあたって、それぞれの団体の代表があいさつを行った。  
札幌市 町田 副市長  
札幌商工会議所 紫藤 副会頭  
連合北海道札幌地区連合会 吉田 会長
- (2) 報告  
ア 指定管理者制度への人件費スライド導入【資料1】  
資料1について、総務局改革推進室から説明。  
参加者からは、次のような意見があった。
  - ・スライド制度の導入は評価する。労働者にスライド分が行き渡るようにしていただきたい。
  - ・指定管理者が委託する清掃・警備業務等にもスライド制度の導入にもつながってほしい。

(3) 意見交換「人手不足について」

ア 札幌市の就業状況と実施事業について【資料2】

イ CCUS 活用、人材確保・育成型総合評価落札方式等【資料3, 4】

資料2について、経済観光局経営支援・雇用労働担当部から、資料3及び4について、財政局管財部から、それぞれ説明。

参加者からは、次のような意見があった。

- ・65歳以上のシニア世代の活用などが必要であり、また、これまでの固定的な就業年齢も考え直す時期に来ている。
- ・奨学金の返還支援制度は、一層アピールしていくべき。若い人が札幌に定着する機会にもなるのでは。
- ・人手不足は、ここ数年のうちに速やかに対策していく必要がある。
- ・人手不足に関して、若手人材の育成が基礎の部分にあったうえで、世代別、男女別、キャリア・スキルといった分野について、現状を踏まえてデータを深掘りして検討していくことが必要である。
- ・女性が働きやすいまちになるように考えていかなければならない。
- ・今後、外国人労働者が増えていく場合、その課題に対応する窓口なども必要となっていくのではないか。

ウ 企業からの意見聴取について

運輸、介護、建設、除雪、ビルメンテナンスなど幅広く業界団体や企業から、人手不足に関して、現状や今後必要なことについてヒアリングを行い、次回以降の協議会において状況を説明する予定であることを、経営支援・雇用労働担当部から説明。

(4) 今後のスケジュール

次回の協議会については、企業からの意見聴取の結果をまとめてから日程調整を行うこととした。

※ 札幌市が説明した資料の内容、今後のスケジュール等については、両団体から賛同いただいた。